

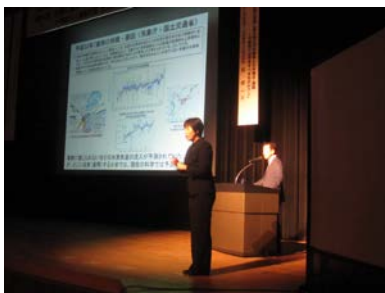
平成 30 年度防災シンポジウム・第 14 回災害に強いコミュニティのための市民フォーラムを開催しました(2019/3/18)

テーマ：地域防災，仙台市地域防災リーダー（SBL），豪雨災害，救護の達人コンテスト
場所：仙台市太白区文化センター楽楽楽ホール

3月18日（月），仙台市太白区文化センター楽楽楽（ららら）ホールにおいて，平成30年度防災シンポジウム・第14回災害に強いコミュニティのための市民フォーラムが開催されました。主催は仙台市，災害科学国際研究所と災害に強いコミュニティのための市民フォーラム実行委員会が共催となりました。当日は，地域防災や自主防災活動に関わっている方や一般市民を含め，約450名の参加者となりました。

内容は，毎年恒例の「ワンポイント防災セミナー」，「救護の達人コンテスト」，「地域防災活動のポスター・パネル展示」に加えて，富山県立大学工学部 環境・社会基盤工学科の呉 修一准教授（元・災害科学国際研究所 助教）による防災基調講演「平成30年西日本豪雨の特徴と東北地方洪水被害との共通点・課題～今後我々は何をすべきなのか？～」も行われました。また，今回のワンポイント防災セミナーでは，仙台八木山防災連絡会による世代間連携による防災の取り組みについて，せんだい男女共同参画財団による防災に関わる女性リーダーの人材育成について，グリーンキャピタル長町Ⅱ管理組合によるマンション防災の取り組みについて事例発表が行われました。救護の達人コンテストでは，一般の部では「秀ちゃんとゆかいな仲間たち（仙台市宮城地区から出場の婦人防火クラブ員）」が，職域の部では「アサヒサンクリーン」が，学生の部では「東北福祉大学救命ボランティアサークルFAST A」がそれぞれ優勝しました。

増田聡教授（人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野）が実行委員会の委員長，佐藤健教授（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）が実行委員会の委員として企画運営に関わりました。本市民フォーラムは，地域防災活動を活性化するための貴重な情報共有の機会の一つであり，仙台市が目指す「107万人の防災人づくり」に対するさらなる貢献が期待されます。



呉准教授による基調講演



会場のようす



救護の達人コンテスト



地域防災活動の情報交流



救護の達人コンテスト表彰式